

あ い さ つ

会長挨拶

高知女子大学看護学会会長 山崎 智子

皆様こんにちは、会長を務めます山崎でございます。今日はお暑い中、遠方からもご参加いただきまして本当にありがとうございます。

このような学会講演会を、公開にと考えましたのは10年前のことで、第7回の看護学会からでございます。学会員だけで貴重なご講演をうかがうのは勿体ない、学会員以外の方々にも是非お聞きいただきたいと考えまして公開に踏み切ったこととございました。

今年は、岡堂先生そして、島内先生に「家族」を中心としたお話をお願いいたしましたところ、快くお引受けいただき、この暑い、しかもご繁忙の中を四国の高知までお越しいただきました。本当に両先生ありがとうございます。両先生のご紹介は後で詳しくあろうかと思えます。しかし、お名前は皆様ご存知の方が多いことと思えます。あとの講演でじっくりお聞きいただきたいと思えます。

ところで、今年は国レベルでも看護に対する啓蒙活動ということで、「看護の日」が制定されました。一方では、看護大学の設立気運が一気に盛り上がり参りました。こうした社会の動きの中で私ども看護に携わるものは、資質の向上ということで、一人ひとりが日々努力していかなければならないことと痛感させられる今日この頃でございます。この講演会が一人ひとりの自己変革への契機となりますことを期待している次第でございます。

それでは、お暑い中でございますけれども、本当に先生も大変でございますが皆様方、最後までどうぞしっかり聴講お願いいたします。それでは簡単ですが以上、開会のご挨拶にかえさせていただきます。